

鹿 児 島 県 公 報

平成25年 4 月 23 日（火）第2900号の 2



発 行 鹿 児 島 県
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
編 集 総 務 部 学 事 法 制 課
定 例 発 行 日（毎 週 火， 金）

目 次

(※については例規集掲載事項)

ページ

教 育 委 員 会 告 示

○指定文化財の指定

(文化財課取扱い) 1

教 育 委 員 会 告 示

鹿児島県教育委員会告示第1号

鹿児島県文化財保護条例（昭和30年鹿児島県条例第48号）第4条第1項、第25条第1項及び第30条第1項の規定により、次の表に掲げる文化財を鹿児島県指定有形文化財、鹿児島県指定無形民俗文化財、鹿児島県指定史跡及び鹿児島県指定天然記念物に指定する。

平成25年 4 月 23 日

鹿児島県教育委員会委員長 島津公保

有形文化財（古文書）

名 称	所 在 地	所有者又は 管理者	備 考
よしとごうそふえず 吉利郷惣絵図	日置市吹上町 中原2568 吹 上歴史民俗資 料館	日置市	本絵図は、宝暦3（1753）年に吉利郷（現在の日置市日吉町吉利）の郷域が確定したことを機に、領主の小松清香が書写させた彩色の絵図である。描写が細かく美麗であり、傷みも少ない状態で残存している大変貴重な絵図である。 また、吉利郷は、正中元（1324）年に行われた下地中分（土地の分割）により中分された地域であるが、本絵図においてその中分線が確認できることから、中世の歴史を語る上での証拠資料となり得る大変貴重な資料でもある。

有形文化財（考古資料）

名 称	所 在 地	所有者又は 管理者	備 考
なかおちかしきよこあな 中尾地下式横穴 墓群出土品	鹿屋市串良町 有里507-1 鹿屋市串良 町ふれあいセ ンター内歴史 民俗資料室 霧島市国分上 野原縄文の森 2-1 鹿児	鹿屋市 鹿児島県	中尾地下式横穴墓群は、6世紀後半から7世紀初頭頃の地下式横穴墓8基から構成される。特に6号地下式横穴墓からは、象嵌装大刀、鉄剣、鉄刀、鉄鏃、耳環等、多様な副葬品が出土した。象嵌装大刀は、鏹と鐔の両面と切羽縁金具部分に銀象嵌で心葉文や二重半円文を施したものである。 これらの出土品は、本県における古墳

	島県立埋蔵文化財センター		時代の副葬品の中でも屈指の情報量と質を誇る貴重な資料である。
あまたつてらまえ こふん 天辰寺前古墳出土品	薩摩川内市御陵下町413-17 薩摩川内市埋蔵文化財管理施設	薩摩川内市	天辰寺前古墳は、薩摩川内市天辰町字寺前に所在する5世紀代の古墳である。石室内には貝製腕輪を装着した人骨片と副葬品の鉄製刀子と銅鏡が発見された。貝製腕輪はイモガイ製で、壮年女性人骨の左前腕に16個、右前腕に2個装着されていた。これらは、地域間の多様な文化交流を知る上で貴重な資料である。

無形民俗文化財

名 称	所在地	所有者又は管理者	備 考
黒島の盆踊り	鹿児島郡三島村黒島	黒島片泊盆踊り保存会 黒島大里盆踊り保存会	「太鼓踊り」や「笠踊り」等からなる片泊集落の盆踊り、「弓矢踊り」や「弔い踊り」等からなる大里集落の盆踊りは、いずれも病気や災害等で亡くなった人の霊を鎮め慰め、その家族の前で供養の意を表すための踊りである。 両集落の盆踊りには、近世以前から伝承されてきた内容も多く、薩摩半島や薩南諸島の盆踊りの古態の特徴が残っており、非常に貴重かつ伝承すべき無形民俗文化財と言える。

史跡

名 称	所在地	所有者又は管理者	備 考
あまたつてらまえ こふん 天辰寺前古墳	薩摩川内市天辰町字寺前651-2の一部	薩摩川内市	天辰寺前古墳は、川内川左岸の丘陵上に造られた古墳時代中期（5世紀代）の円墳で、直径27～28m、高さ約3mの規模をもつ。墳丘の中央部に竪穴式石室を設けている。 石室の基礎部は、平面形がやや幅広な長方形で箱式石棺状をなし、さらに平置きした板石を、やや内傾させながら上位へ積み重ねて空間を設けたもので、独特な構造である。保存状態が良好であることも貴重である。
おかざき こふんぐん 岡崎古墳群（15号墳）	鹿屋市串良町岡崎3250-2の一部及び1785の一部	東倉晃事代主神社（氏子代表倉田雪男）	岡崎古墳群は、肝属平野西側の台地上に立地する古墳群で、20基の古墳からなる。 15号墳は、墳丘長25.5mの帆立貝形前方後円墳で、主体部には花崗岩製の箱式石棺があり、石棺の内外から甲冑片や勾玉、管玉等が出土した。 志布志湾沿岸の他の古墳群との関連や本県の古墳時代の様相を知る上で欠くことのできない遺跡である。

天然記念物

名 称	所 在 地	所有者又は 管理者	備 考
下甌島夜萩円山 断崖の白亜系姫 浦層群	薩摩川内市鹿 島町藺牟田夜 萩1018-1の 一部	薩摩川内市	<p>夜萩円山展望台から全容を見ることが できる夜萩円山断崖は、甌島の鹿島断崖 の北端に位置する高さ約170mの断崖で、 姫浦層群の連続した地層が観察できる露 頭である。</p> <p>姫浦層群は、長島、獅子島、熊本県の 天草に分布しており、夜萩円山断崖から 産出された貝化石から、断崖の地層は約 8,000万年前のもので、大陸周辺の浅い 海域に堆積したと考えられ、大陸から切 り離された日本列島の成り立ちを考える 上で極めて重要である。</p>
南種子町のイン ギー鶏	熊毛郡南種子 町	南種子町イ ンギー鶏育 種会	<p>インギー鶏は、明治27（1894）年、種 子島に漂着したイギリスの帆船ドラメル タン号から島民が譲り受けた鶏で、名前 は、当時、島民がイギリス人を「インギ ー」と呼んでいたことに由来する。</p> <p>尾骨はあるが、尾羽の発育不全の縮れ で尾がないように見える珍しい鶏である。 また、コーチン種の系統に属する中国南 部の品種と考えられるが、100年以上に わたる改良・淘汰で固有の鶏種として確 立されていると考えられることから、遺 伝学の分野から見ても貴重である。</p>

天然記念物

名 称	生 息 地	所有者又は 管理者	備 考
ミシマサワガニ	黒島、口永良 部島及び宇治 群島		<p>ミシマサワガニは、2011年12月に新種 として発表されたが、それまでは「島嶼 のサワガニ」の名称で鹿児島県レッドデ ータブック（鹿児島県 2003）に準消滅 危惧種として掲載されていた。</p> <p>本種は、黒島、口永良部島、宇治群島 にのみ生息し、これら島嶼間の地史的関 係を考慮する上で重要な情報を得ること ができ、また、サワガニ類の分類学的研 究において種分化過程等を解明する上で 学術的に貴重なものである。</p> <p>地域を定めず指定する。</p>